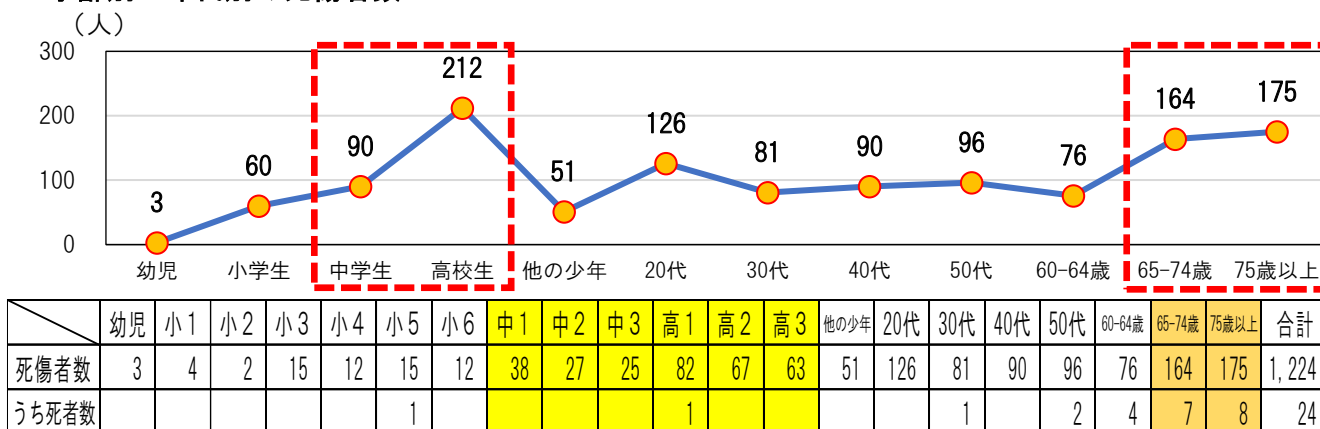


## 自転車乗用中に死傷した交通事故の分析結果について ～過去10年間（平成25年から令和4年）の分析～

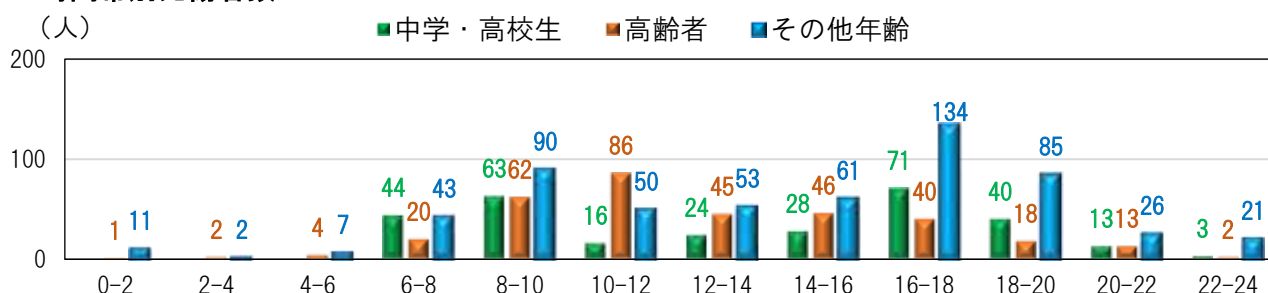
### 1 学齢別・年代別の死傷者数



- 過去10年間で、自転車乗用中の交通事故による死傷者数は1,224人、うち24人が亡くなった。
- 高校生の死傷者数が212人と最も多く、中学・高校生が全死傷者の24.7%を占める。
- 死者24人中、65歳以上の高齢者が15人（62.5%）、60歳以上では19人（79.2%）と高齢になるにつれ、死者数が増加している。

### 2 中学・高校生と高齢者の自転車乗用中交通事故の特徴

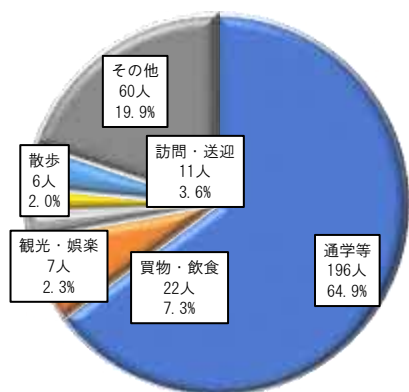
#### (1) 時間帯別死傷者数



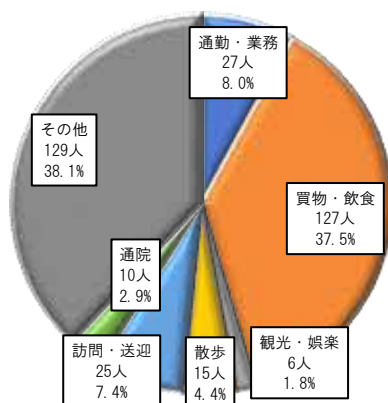
- 中学・高校生は16時から18時までの間が71人と最多で、次いで8時から10時までの間が63人
- 高齢者は、10時から12時までの間が86人と最多で、他の時間帯と比較して被害が顕著

#### (2) 通行目的別死傷者数

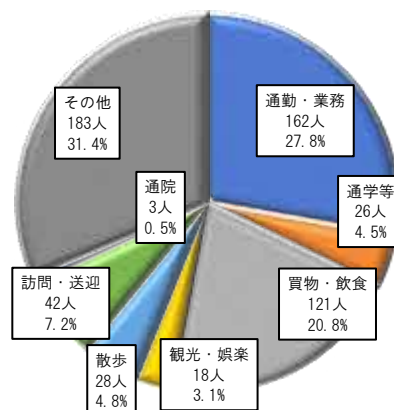
##### ア 中学・高校生 (302人)



##### イ 高齢者 (339人)

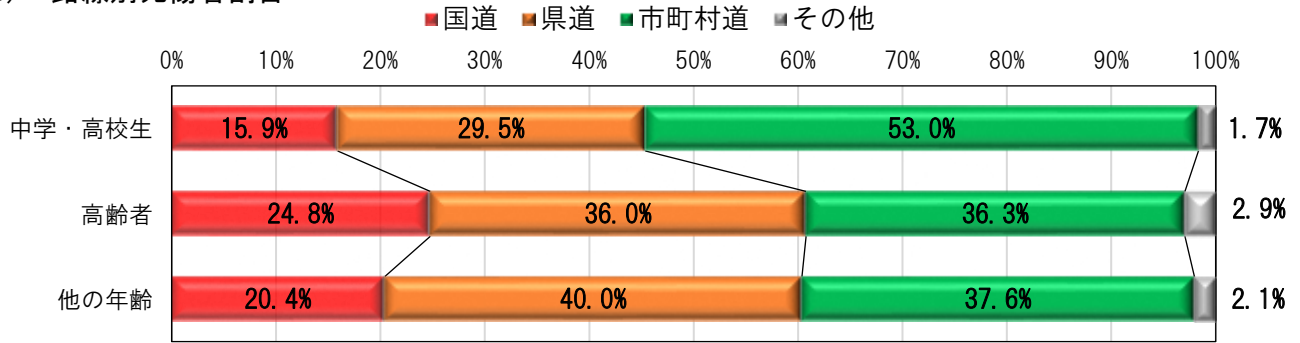


##### ウ 他の年齢 (583人)



- 中学・高校生は、通学中（登下校等）が196人（64.9%）と最多
- 高齢者は、買物・飲食が127人（37.5%）と最多

(3) 路線別死傷者割合

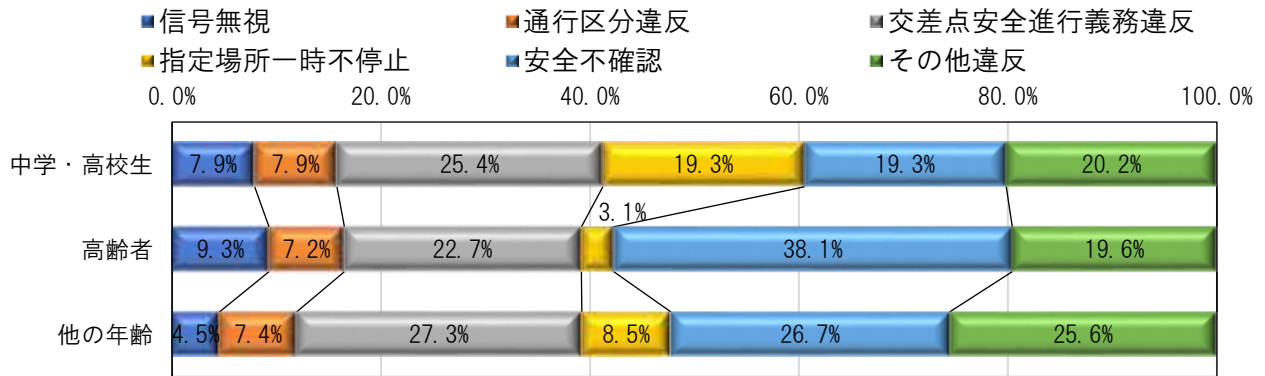


○ 中学・高校生は、市町村道が53.0%（160人）と半数以上を占める。

(4) 法令違反別死傷者数

	信号無視	通行区分違反	交差点安全進行義務違反	指定場所一時不停止	安全運転義務違反				その他違反	違反あり合計	違反なし	合計
					安全不確認	前方不注意	動静不注視	操作不適				
中学・高校生	9	9	29	22	22	2	5		16	114	188	302
高齢者	9	7	22	3	37	2	2	5	10	97	242	339
他の年齢	8	13	48	15	47	1	7	2	35	176	407	583
合計	26	29	99	40	106	5	14	7	61	387	837	1,224

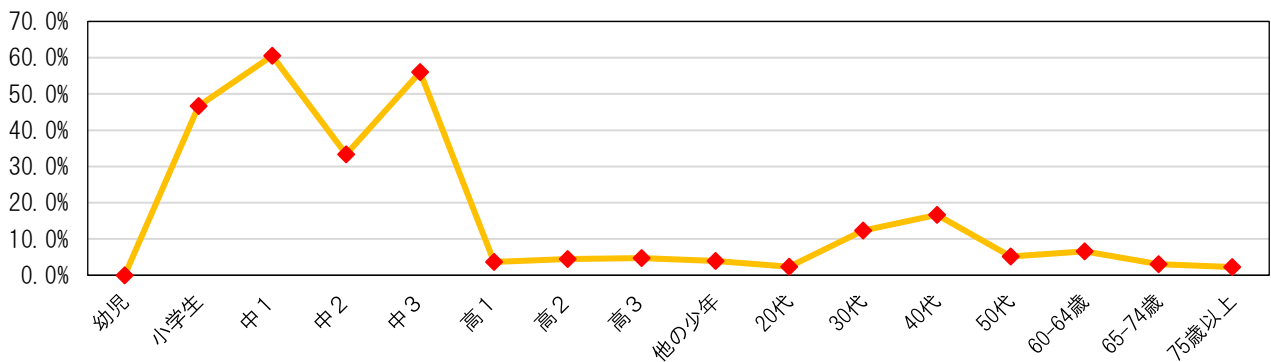
【違反ありに占める各違反の割合】



○ 中学・高校生の死傷者の37.7%（114人）に何らかの法令違反があり、特に、指定場所一時不停止の違反割合が、高齢者の約6.2倍、他の年齢の約2.3倍

○ 高齢者の死傷者の28.6%に何らかの法令違反があり、安全不確認の違反割合が38.1%と高い

(5) 学齢別・年代別の自転車乗用中死傷者のヘルメット着用率



	幼児	小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他の少年	20代	30代	40代	50代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
着用		28	23	9	14	3	3	3	2	3	10	15	5	5	5	4	132
非着用		3	29	14	15	77	63	59	49	122	70	75	90	71	156	169	1,073
着用不明		3	1	3		2	1	1		1	1		1		3	2	19
合計	3	60	38	27	25	82	67	63	51	126	81	90	96	76	164	175	1,224
着用率	0.0%	46.7%	60.5%	33.3%	56.0%	3.7%	4.5%	4.8%	3.9%	2.4%	12.3%	16.7%	5.2%	6.6%	3.0%	2.3%	10.8%

○ 自転車乗用中の死傷者のヘルメット着用率は 10.8%

○ 高校生の着用率は 4.2%と、中学生の着用率（51.1%）と比較して低い

○ 75歳以上の着用率は 2.3%と、母数の少ない幼児を除いては最も着用率が低い